

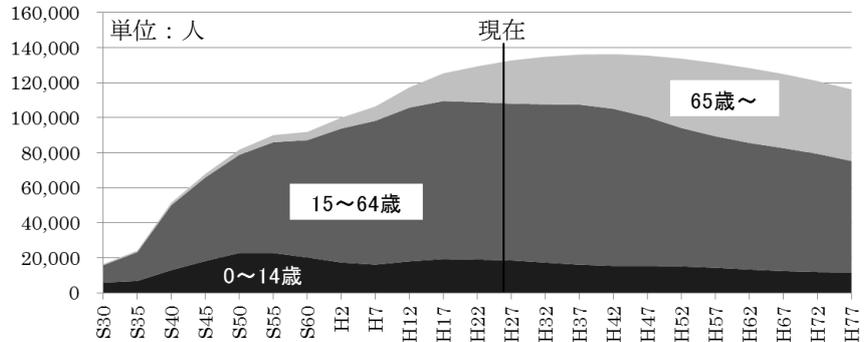
朝霞市公共施設白書 【概要版】

編集・発行 朝霞市
平成 26 年 10 月

市の公共施設を維持していくためには、今後どの程度の費用が必要になるのでしょうか。
公共施設の現状を把握するために、公共施設白書を作成しました。

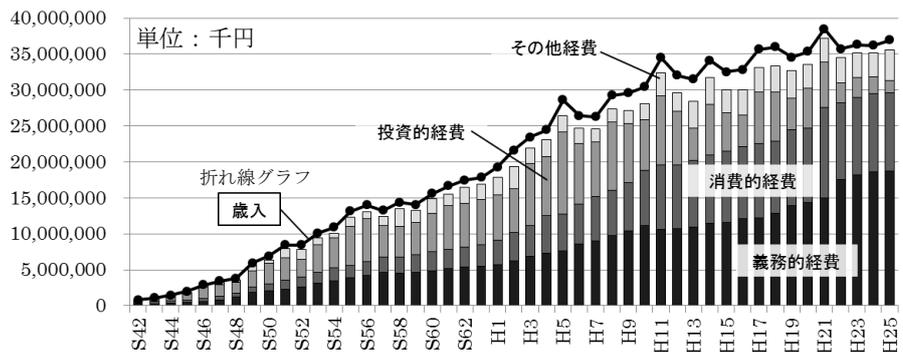
1 人口の推移と将来推計

○朝霞市の人口は今後、微増から減少へ向かうと推測されます。
○65 歳以上の高齢者の割合が増え、高齢化率は約 50 年後には 35.2%になると推測されます。(H26 は 18.0%)



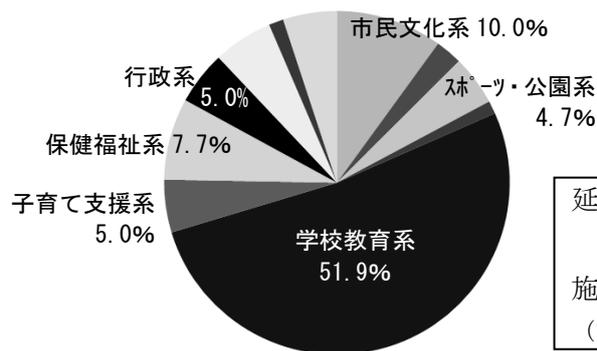
2 歳入歳出の推移

○市税の減少や扶助費の増加などにより、財政状況は急速に厳しさを増しています。
○公共施設等の改修や整備に充てる「投資的経費」は、近年急激に減少しています。



3 類型別の延床面積割合

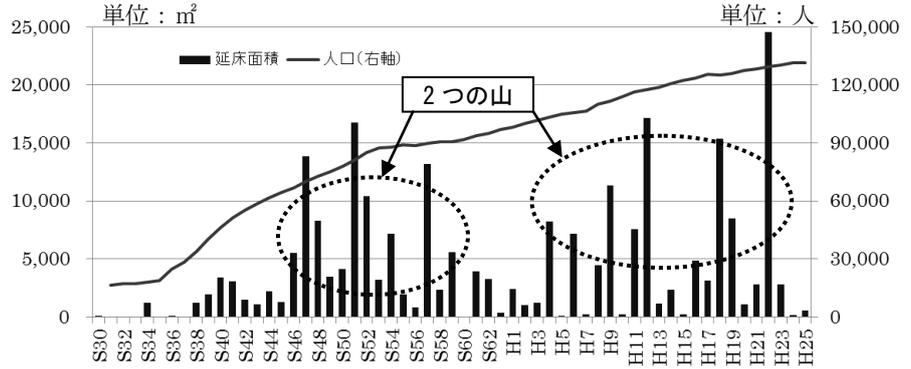
○公共施設の延床面積で見ると、約半分を学校教育系が占めています。
○人口1人あたりの延床面積は、1.87 m²/人です。
(同規模人口自治体の全国平均は 2.89 m²/人)



延床面積合計
249,474 m²
施設数 143 箇所
(市所有分のみ計算)

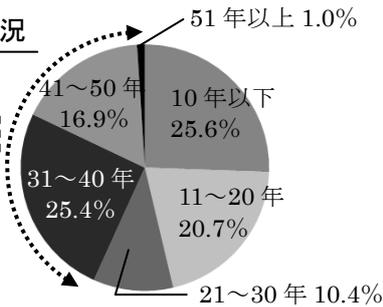
4 建築年別の延床面積

○現在保有している建物の延床面積でみると、昭和40～50年代と、平成に入ってからの2つの山があります。



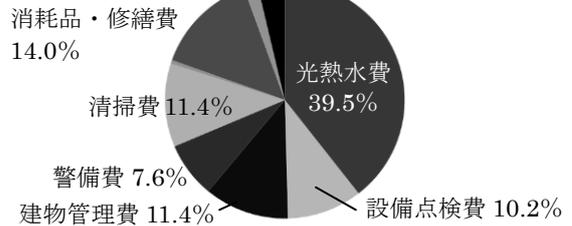
5 老朽化の状況

老朽化 43.3%



○築年数が30年を超える建物の延床面積は、全体の約43.3%あります。

6 維持費用の内訳

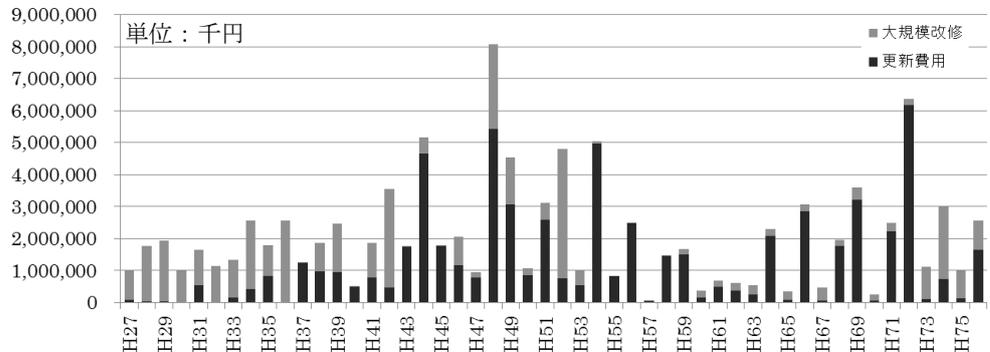


○人件費を除く維持費用でみると、光熱水費が39.5%で最も割合が多くなっています。

7 更新改修費の推計

※この費用推計には、道路や上下水道などは含まれていません。

○更新（建替え）と大規模改修の費用を合計すると、今後50年間で合計1,050億円、年平均で21.0億円が必要になると推計されます。



8 公共施設の課題

公共施設を取り巻く状況

○人口は微増から減少へ推移し、高齢化率が高まると予想されます。
○近年急速に財政運営が厳しさを増しており、公共施設の改修や整備に充てる費用が減少しています。

公共施設の状況

○延床面積で全体の43.3%が築年数30年を越えており、老朽化が進んでいます。
○現状の施設を維持した場合、大規模改修や建替えなどで後年に多額の費用が必要になります。

今後は、これらの課題を踏まえた公共施設の維持管理方針として「公共施設等総合管理計画」を策定する予定です。道路、上下水道、クリーンセンターなどもこの計画に含める予定です。

お問い合わせ：朝霞市総務部財産管理課 電話 048(463)0203 電子メール zaisan_kanri@city.asaka.saitama.jp